教科書とノート、問題集とプリント教材をスミからスミまで全部覚えて、定期試験で全教科100点満点を目指そう

開倫塾
塾長 林　明夫

Q：学校の定期試験で100点満点を取るにはどうしたらよいのですか。

A：(林明夫：以下省略)「学校の教科書と授業中のノート、問題集とプリント教材をスミからスミまで全部覚えること」に尽(つ)きます。これが 100 点満点を取る最も確実な方法です。

Q：教科書だけでなく、ノートや問題集、プリントもスミからスミまで全部覚えるのですか。

A：(1)その通りです。定期試験に出るのは、「教科書」からだけではありません。

(2)授業の内容からも出ますので、「授業中のノート」もすべて覚えてください。

＊授業中に「ノート」を取っていないと、定期試験の勉強のときに覚えることすらできません。大切なことはすべて「ノート」に取って、定期試験に備えてください。

＊「授業の重要なことをノートに取ることができること」は「大切な能力」です。

(3)定期試験は、「学校の問題集」からも出題されます。ですから、それに出ている問題はすべてノートに解いておく必要があります。すべての問題について、なぜそのような解答になるのかを「うんなるほど」と十分に「理解」しておくことが大切です。解き方やなぜそのような解答になるのかがわからなければ、教科書や参考書などでしっかりと調べてください。自分で調べてわからなければ、遠慮しないで、学校や開倫塾の先生に礼を尽くして質問してください。

＊試験範囲について、「問題集をすべてやり切り、なぜそのような解答になるのかを理解することができること」は「大切な能力」です。

(4)定期試験は、学校の先生が授業中に配った「プリント教材」からも出題されます。ですから、プリントは一枚残らず大切にファイルなどに保存しておくことが求められます。一枚でも紛失してしまうと試験対策ができず、100 点満点はおろか、よい点数が取れることはありません。

＊「プリントを一枚も紛失することなく、ファイルして保存することができること」は「大切な能力」です。

Q：ノートを取ること、問題集の問題の解答がなぜそうなるのかを「理解」すること、プリントをファイルすることが「大切な能力」とは驚きました。教科書とノート、問題集とプリントをスミからスミまで全部覚えるにはどうしたらよいのですか。

A：全部覚える前にやることがあります。

(1)それは、「教科書」と「ノート」、「問題集」と「プリント」に書いてある内容を声を出

して読みながら、つまり「音読」しながら、意味のわからない語句を辞書や用語集、参考書などで調べ、その意味をノートに書き写すことです。

＊書き写した語句と意味は、その場で必ず覚えること。このようにして身に着けたことばの数が多ければ多いほど、学力は身に着きます。「ことばは力」、「ことばの数は力」です。

(2)書いてある内容が「うんなるほど」とよく「理解」できたら、そのあとは「定着のための3大練習」を徹底的に行い、スミからスミまで覚えることです。

Q：「定着のための3大練習」とは何ですか。

A：(1)今学んでいることをスミからスミまで覚える、身に着ける、つまり「定着」させるための3つの練習です。

(2)その第一は「音読練習」です。声を出して、スラスラとよく読めるようになるまで繰り返し何回も読む。これが「音読練習」です。

(3)その第二は「書き取り練習」です。学校の教科書の書体、つまり「楷書(かいしょ)」で、書き順にも注意を払いながら正確に書けるようになるまで書く練習をする。これが「書き取り練習」です。

＊英語はブロック体だけでなく、美しい筆記体でも書けるように「書き取り練習」をしましょう。

(4)その第三は「計算・問題練習」です。(真ん中の「・」は「ポチ」と呼びます。)なぜそのような解答になるのかがよく「理解」できた計算や問題は、見た瞬間に条件反射でパッ、パッ、パッと正解が出るようになるまで解く練習をする。これが「計算・問題練習」です。

(5)慶應義塾大学の塾長であった小泉信三先生の教えに、「練習は不可能を可能にする」があります。私は、「定着のための3大練習は不可能を可能にする」、「定期試験で全教科100点満点を可能にする」と確信します。

Q：最後に一言どうぞ。

A：(1)以上を行うためには「ハードな長時間自己学習」が必要です。定期試験の3～4週間前から「ハードな長時間自己学習」を実行してくださいね。

(2)「ハードな長時間自己学習」を継続することで、「主体的に学ぶ力」という意味での「学力」が身に着きます。自分から進んで学ぶ力、「主体的に学ぶ力」こそが真の「学力」です。よい点数が取れたり難関校や希望する学校の入学試験に合格できたりすることは、その結果の一つです。

(3)開倫塾に在籍する間に、「効果の上がる学習の仕方」と「ハードな長時間自己学習」により「主体的に学ぶ力」という意味での「学力」を少しずつでも身に着けてくださいね。一生役に立ちますよ。

―2015年5月9日記―